

第 100 期  
株 主 通 信  
(中間報告書)

2023年 3 月 1 日から

2023年 8 月31日まで



株 式 会 社 歌 舞 伎 座

証券コード：9661

## 株主のみなさまへ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

歌舞伎座は今年、新開場十周年を迎えました。この節目の年を迎えることができましたことは、ひとえに株主の皆様方の長年にわたるご支援、ご愛顧の賜物と、深く感謝申し上げます。

当社グループでは、今期、新開場十周年を記念してご寄贈いただいた舞台緞帳4張の入替を行い、お披露目をすることができました。いずれの緞帳も歌舞伎の殿堂である「歌舞伎座」に相応しい豪華な幕となっております。この新たな緞帳と共に、これからも歌舞伎座へご来場いただいたすべてのお客様に格別で贅沢なひとときを提供できるような劇場空間づくりと、「歌舞伎座」ならではの食やサービスの提供に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年11月

## 上半期の事業概況

この上半期、劇場歌舞伎座においてはコロナの影響から観劇を控えていたお客様も徐々に戻り、また、海外からの需要も増加しており、6月には4階一幕見席が再開し、興行面においても開場以来初となる両宙乗りの演出を行うなど、新開場十周年を彩る公演が続いております。

当社グループにおきましても、今春より場内でのアルコール飲料の提供が再開となり、幕間時間の賑わいが戻りつつあり、売店部門でも十周年記念のコラボ企画商品がご好評いただくなど、今後の展開にも期待が膨らむ半期となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,509百万円、営業利益は98百万円、経常利益は121百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は81百万円となりました。

## 事業別概況

### <不動産賃貸事業>

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う規制の緩和が、国内観光需要を後押しする形となった今期の上半期は、銀座という地域性も相まって、国内外からの観光客が目に見える形で増加しており、木挽町広場や施設内のテナントの売上も安定さを取り戻してきております。

また、新開場より10年となる今期は各テナントとの賃貸借契約の更新時期であり、今後の収益を見据えた形での契約継続をいたしました。

新たな取り組みとして、当社グループが参画する団体である「東銀座まちづくり推進協議会」と「一般社団法人東銀座エリアマネジメント」が主催する中央区・警察・消防が一体となった防災イベント「HIGASHIGINZA BOUSAI FES 2023」が歌舞伎座を会場に開催されました。東銀座エリアの防災意識の向上を目指した活動にも積極的に参加することで、GINZA KABUKIZAの価値向上に努めました。

施設面では、コロナ禍の余波による資機材不足や物流の停滞が続いていましたが、今期に入り徐々に回復に向かい、当施設においても前期計画していた建物保全業務のうち、延期を余儀なくされていた冷凍機設備、駐車場設備の保全作業が実施可能となりました。

以上の結果、当上半期の売上高は951百万円となり、営業利益は371百万円となりました。

引き続き利用者の皆様の安全・安心、そして快適な環境を提供できるよう尽力してまいります。

### <食堂・飲食事業>

食堂・飲食事業では、前期まで提供を取りやめていたアルコール飲料を3月から食堂内で、5月からは観劇席・ロビーで再開いたしました。定番の生ビールや人気のスパークリングワインなどの提供が可能となり、窓から外の景色が楽しめるスペース「花籠Bar」や「ドリンクコーナー」でお客様から好評をいただいております。

3階のお食事処「花籠」では、毎月演目に因んだ食材を使用した御膳や、出演俳優監修の御膳を用意し、「歌舞伎座」ならではのメニューの充実を図り、集客に努めました。さらに、「かぶきにゃんたろう」とコラボレーションしたアフタヌーンティーや、落語・将棋などの趣味の会、各種セミナー、美術館とコラボレーションなどのイベントを充実させた結果、ご来店いた

だくお客様も増加傾向にあります。

飲食施設「歌舞伎そば」につきましては、常連のお客様にご愛顧賜りましたが、老朽化に伴う機器の故障があり、また、原材料費が高騰する中で、これまでと同様のサービスを提供することは困難との判断に至り、4月に閉店いたしました。

以上の結果、当上半期の売上高は277百万円となり、営業損失は23百万円となりました。

### <売店事業>

売店事業につきましては、国内観光客やインバウンド客増加の影響により、全体的に売上増加傾向にありました。

劇場内1階のお土産処「木挽町」では、感染症対策として劇場で実施していた入場規制も緩和され、より多くのお客様にご来店いただけるようになりました。

劇場入口を介さずに直接入店できる立地を活かし、観劇目的のお客様に限らず、観光で歌舞伎座を訪れた国内外のお客様にもお買い求めいただけるよう演目に因んだ商品やお土産、浅草・京都などの老舗の和菓子など幅広く取り揃え販売いたしました。

木挽町広場では、4月から「GINZA歌舞伎座新開場10周年記念」特設コーナーを設け、歌舞伎座×SEIKOオリジナルウォッチ、歌舞伎衣裳を額装にしての限定販売、有名パティシエのスイーツなど数多くのオリジナル商品、食品を取り揃え、売上増大に努めました。また「歌舞伎座江戸老舗市」、第5回「ねこ展」などが好評を博し、多くのお客様にご来場いただきました。

一方、業績回復を狙った事業の選択と集中を進めた結果、歌舞伎座新開場時から5階で営業しておりましたお土産処「楽座」については、6月をもちまして閉店いたしました。

以上の結果、当上半期の売上高は279百万円となり、営業利益は20百万円となりました。

今後、更なる増加が期待される訪日観光、日本在住の外国人のお客様を意識した商品や店舗展開を行ってまいります。また、販路拡大の施策として、大型商業施設や他劇場への出店など外販事業や、「歌舞伎座オンラインストア」でのインターネット販売に注力し、魅力ある商品を揃えて、利便性の高いオンラインストアサイトとなるよう取り組んでまいります。

# 連結財務諸表 (要旨)

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

| 科 目      | 前連結会計年度<br>(2023年2月28日) | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>(2023年8月31日) | 科 目         | 前連結会計年度<br>(2023年2月28日) | 当第2四半期<br>連結会計期間<br>(2023年8月31日) |
|----------|-------------------------|----------------------------------|-------------|-------------------------|----------------------------------|
| 資産の部     |                         |                                  | 負債の部        |                         |                                  |
| 流動資産     | 1,633,745               | 1,825,810                        | 流動負債        | 772,031                 | 856,732                          |
| 固定資産     | 22,623,114              | 22,443,726                       | 固定負債        | 12,860,046              | 12,729,821                       |
| 有形固定資産   | 14,035,362              | 13,819,147                       | 負債合計        | 13,632,078              | 13,586,553                       |
| 無形固定資産   | 2,634,737               | 2,631,744                        | 純資産の部       |                         |                                  |
| 投資その他の資産 | 5,953,014               | 5,992,834                        | 株主資本        | 8,955,550               | 8,976,233                        |
| 資産合計     | 24,256,859              | 24,269,536                       | その他の包括利益累計額 | 1,669,231               | 1,706,749                        |
|          |                         |                                  | 純資産合計       | 10,624,781              | 10,682,983                       |
|          |                         |                                  | 負債純資産合計     | 24,256,859              | 24,269,536                       |

## 連結損益計算書

(単位：千円)

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| 科 目   | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>自 2022年3月1日<br>至 2022年8月31日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>自 2023年3月1日<br>至 2023年8月31日 | 科 目              | 前第2四半期<br>連結累計期間<br>自 2022年3月1日<br>至 2022年8月31日 | 当第2四半期<br>連結累計期間<br>自 2023年3月1日<br>至 2023年8月31日 |
|---|---|---|------------------|---|---|
| 売上高   | 1,243,256                                       | 1,509,476                                       | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 123,983   | 230,290   |
| 売上原価  | 994,702   | 1,122,364                                       | 投資活動によるキャッシュ・フロー | △11,929   | △2,893  |
| 売上総利益   | 248,554   | 387,112   | 財務活動によるキャッシュ・フロー | △59,698   | △59,562   |
| 販売費及び一般管理費                                    | 292,288   | 288,423   | 現金及び現金同等物の増減額    | 52,355  | 167,834   |
| 営業利益又は営業損失(△)                                 | △43,734   | 98,689  | 現金及び現金同等物の期首残高   | 1,412,470                                       | 1,507,023                                       |
| 営業外収益   | 20,841  | 23,163  | 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,464,825                                       | 1,674,857                                       |
| 営業外費用   | 337   | 341   |                  |   |   |
| 経常利益又は経常損失(△)                                 | △23,230   | 121,511   |                  |   |   |
| 税金等調整前四半期純利益<br>又は税金等調整前四半期純<br>損失(△)         | △23,230   | 121,511   |                  |   |   |
| 法人税等合計  | 31,069  | 40,229  |                  |   |   |
| 四半期純利益又は四半期純<br>損失(△)                         | △54,299   | 81,282  |                  |   |   |
| 親会社株主に帰属する四半<br>期純利益又は親会社株主に<br>帰属する四半期純損失(△) | △54,299   | 81,282  |                  |   |   |

(注) 「売上原価」と「販売費及び一般管理費」について当期より計上場所を一部見直したことから、前年同期の数値を同様に組み替えて表示しています。

## 会社情報 (2023年8月31日現在)

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 商号                    | 株式会社歌舞伎座  |
| 設立                    | 1949年11月  |
| 資本金                   | 2,365,180,000円  |
| 発行済株式総数               | 12,170,000株   |
| 株主数                   | 5,787名  |
| 公告掲載URL<br>(プレス等開示情報) | <a href="https://www.kabuki-za.co.jp/annai">https://www.kabuki-za.co.jp/annai</a><br>(ただし、電子公告ができない事由が生じたときは、官報にて行います)  |
| 事業年度                  | 3月1日から翌年2月末日まで  |
| 定時株主総会                | 毎年5月下旬  |
| 基準日                   | 定時株主総会の議決権、期末配当：2月末日<br>(中間配当を実施するときは8月31日)   |
| 株主名簿管理人<br>同 連絡先      | みずほ信託銀行株式会社<br>〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号<br>みずほ信託銀行株式会社 証券代行部<br>0120-288-324 (フリーダイヤル) 土・日・祝日を除く 9:00~17:00  |
| 役員                    | 取締役会長 大谷信義<br>代表取締役社長 安孫子正<br>取締役 山内貴美子<br>木川正彦<br>田中智明<br>小平健 (社外取締役)<br>松平誠 (社外取締役)<br>武藤寛征 (社外取締役)<br>鈴木太一郎 (社外取締役)<br>常勤監査役 長尾卓史 (社外監査役)<br>監査役 大谷二郎<br>井ノ上正男 (社外監査役) |

# 株主優待のご案内

## 優待内容

|                     |
|---------------------|
| 劇場歌舞伎座の観劇ご招待（1・2階席） |
|---------------------|

## 株主優待基準日・期間

| 株主優待基準日 | 優待対象期間        |
|---------|---------------|
| 毎年2月末日  | 6月公演～11月公演分   |
| 毎年8月31日 | 12月公演～翌年5月公演分 |

## 優待基準

| 所有株式数   | 6ヶ月間優待枚数 |
|---------|----------|
| 150株～   | 1枚       |
| 450株～   | 3枚       |
| 750株～   | 3枚       |
| 1,000株～ | 4枚       |
| 1,500株～ | 6枚       |
| 2,000株～ | 8枚       |
| 3,000株～ | 12枚      |
| 5,000株～ | 18枚      |

} 「150株～、450株～」は年間枚数となります



株式会社歌舞伎座

〒104-0061 東京都中央区銀座四丁目12番15号

電話 (03) 3544-1075

UD  
FONT